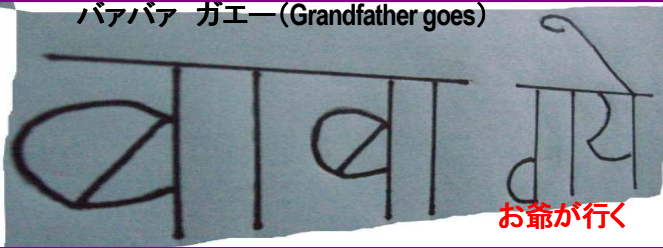


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く



書画作成

Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2009年11月27日 発行 第26号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

◎◎ 妊婦学校と学校衛生教育 ◎◎



寒さが日毎に増この頃です。あまりに寒いと学校も休校になるそうです。

この日も朝13度でした。恐らく夜中はもっと下がっているでしょう。



暖房器具は病院でもありません。布団、毛布が唯一の暖房器具です。普通の家ではもっと条件は悪く、風邪を引きやすい状態です。しかも、インド人の習慣として、「朝シャン」があります。それも「水浴」ですからどうなるのでしょうか。

スタッフも井戸水だから「暖かい」と言いますが、でも「体がブルブルするだろ？」と聞けば「Yes」でした。

この日も妊婦学校の出足は悪かったですね。しかし、子供は元気そのもので、頭シラムの薬を貰いに31人も来ました。半袖や、裸足やら様々な格好で来ていました。学校を休んでくるのでしょうか、何時も不思議に思います。

学校は床は石ですからさぞかし冷えると思います。学校にはこの日からJICAが作成したポスターに少し手を加え、「うがい」の絵を付け足したポスターを渡し、日常の手洗い、うがいを進めるように依頼しました。政府から届いていないのか、先生に大変喜ばれました。



◎◎ ヒンディ語と日本語の50音 ◎◎ その後の調査で分かったこと

24号で書きましたヒンディ語の続きです。書いた後、気になりました。どうして日本語の50音がヒンディ語と似ているのだろう、と気になりました。ヒンディ語の母音は12音もあり、その内から「5音」採用したのが「50音」でした。

もし、12音採用なら英語も容易であったらうと言ってました。まさしく「なんでだろー」です。

研究者の記事は見つかりませんが、インドに20年余滞在し、大学でヒンディ語を専攻した「清 好延」さんの記事がありました。JICAの専門家としてもインドで働いたようです。(その他に50音に触れている人はいましたが…)

そこには「日本語の50音はヒンディ語が祖先で、奈良大仏開眼の入魂式に渡日した盲目のインド人僧侶が伝えた」と書いてありました。下記のHPがその記事です(講演の文章)。

検索のキーワードは「インドあれこれ」で「2006年3月16日・東京外語大」と表示するのが紹介ページです。

<http://www.indosay.jp/3history/speech/20060316.htm>

ちなみに、この方の「インド博物館」ページはインド人の生活、風物、植物、起業、税制、行政等々書いてあります。特に「Tips」欄は生活に密着した記事なので面白いです。検索は「インド博物館」そのものです。

日本とインド

「南無阿弥陀仏」、「三ザル」、「50音」、「ヒンディ神」、「水平器」等が大陸や海を渡って日本に伝わったのでしょうか。まるで文化が偏西風に乗って日本に吹きだまりのように伝わったと感ずります。

何というか、こうした文化に接したとき、日本を中心にして「考えている」己を感じました。まさしく「おっ、日本に似ているじゃん」でした。

馬鹿でしたね「日本に似ていない」のですから…。

「日本文化のルーツ」に出会ったのです。